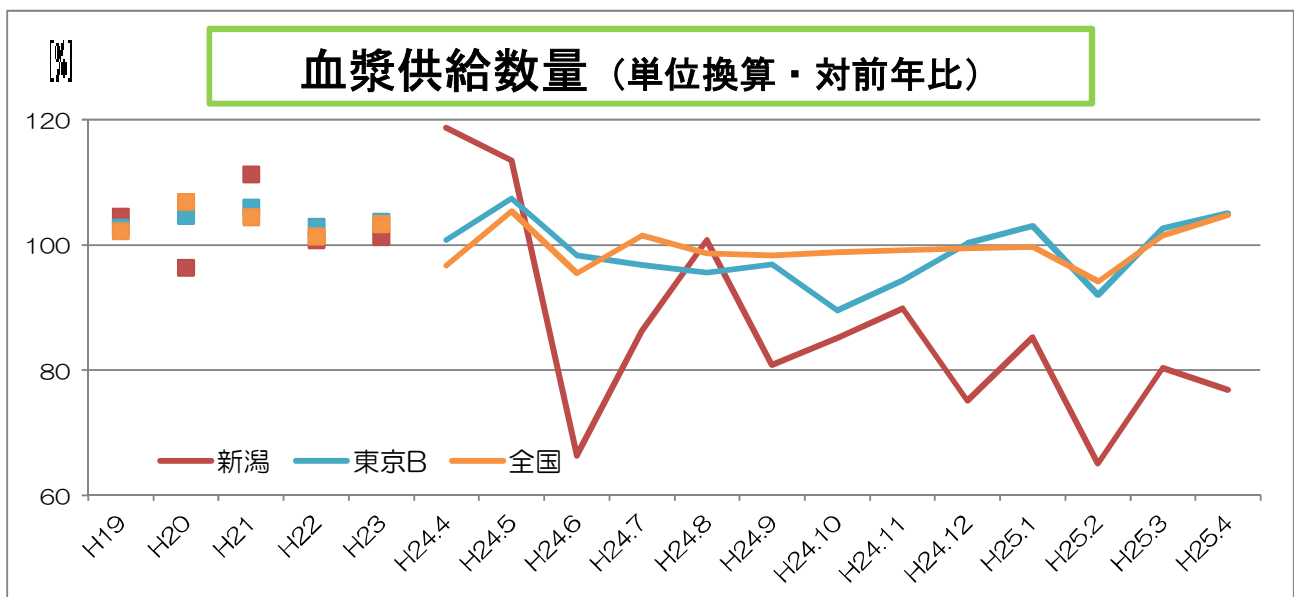
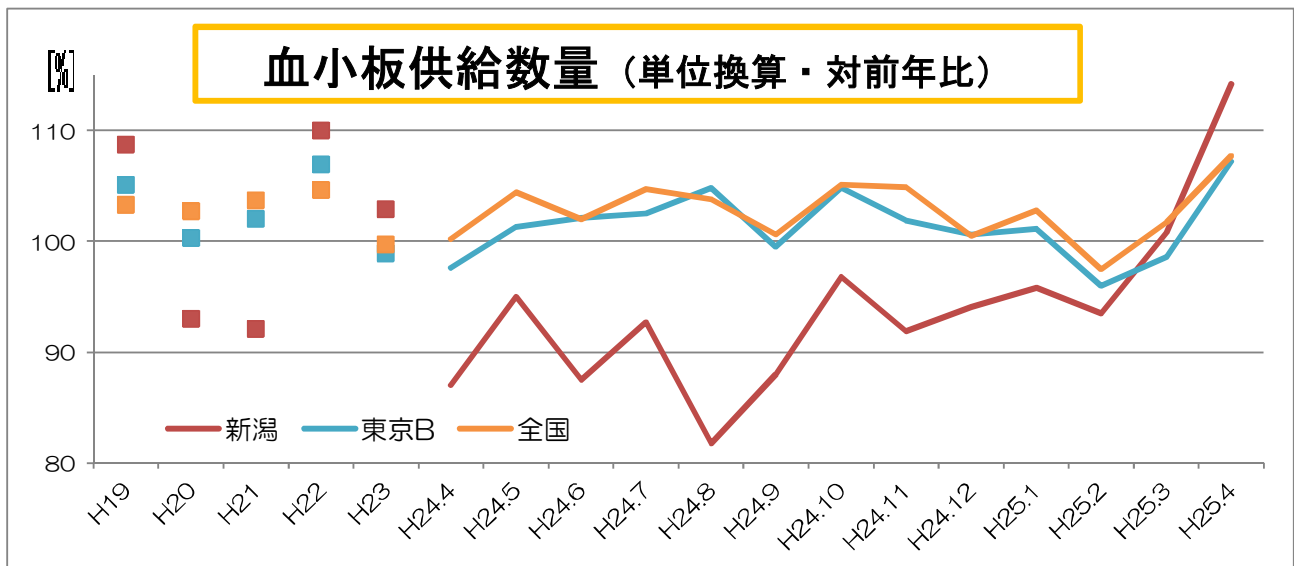
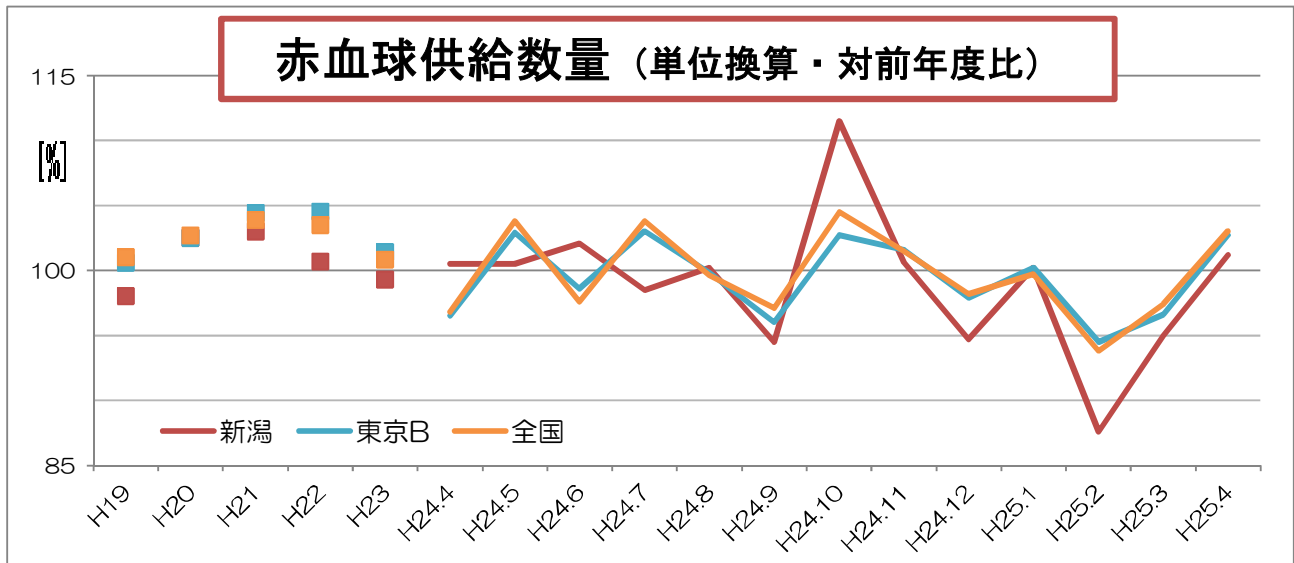
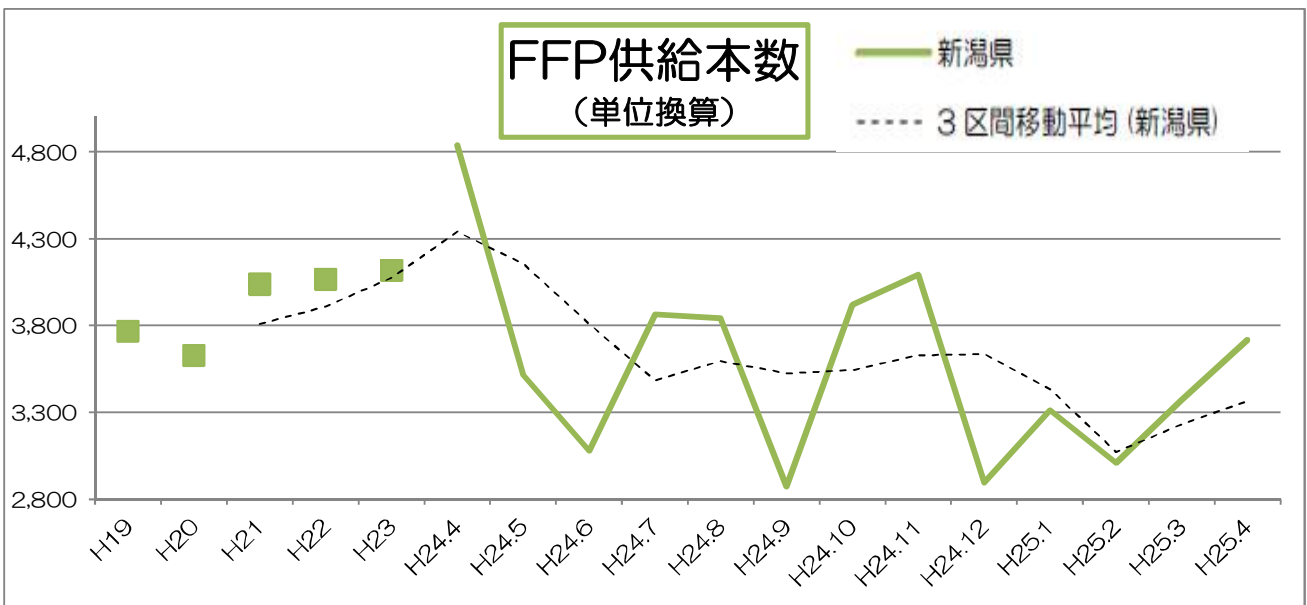
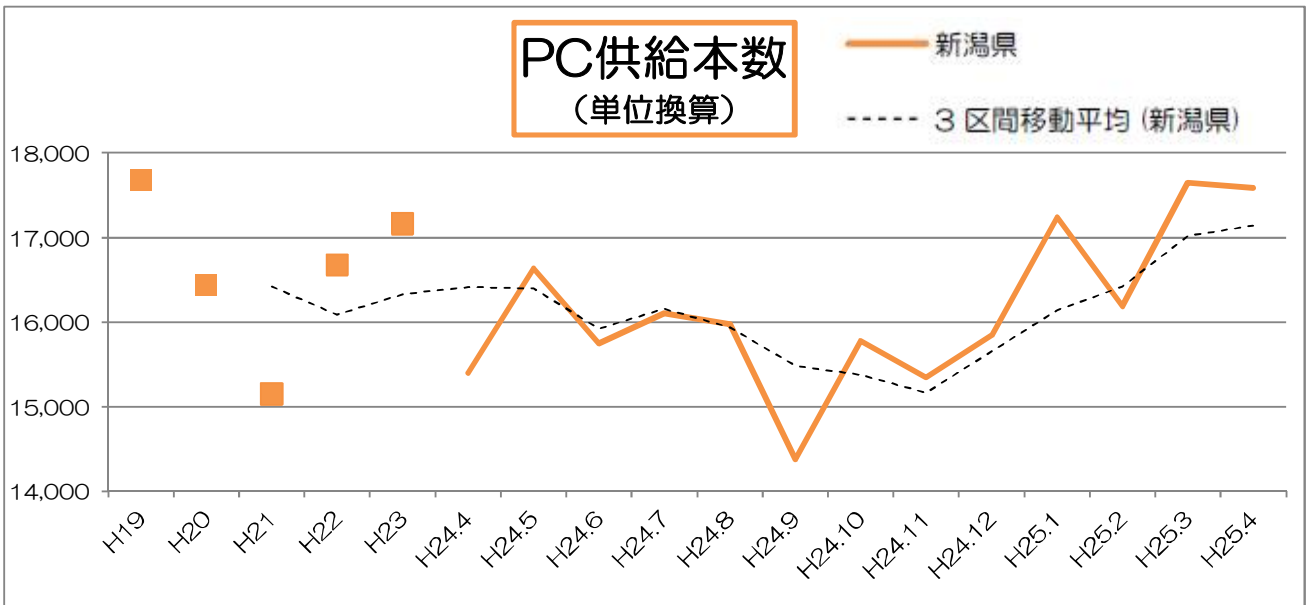
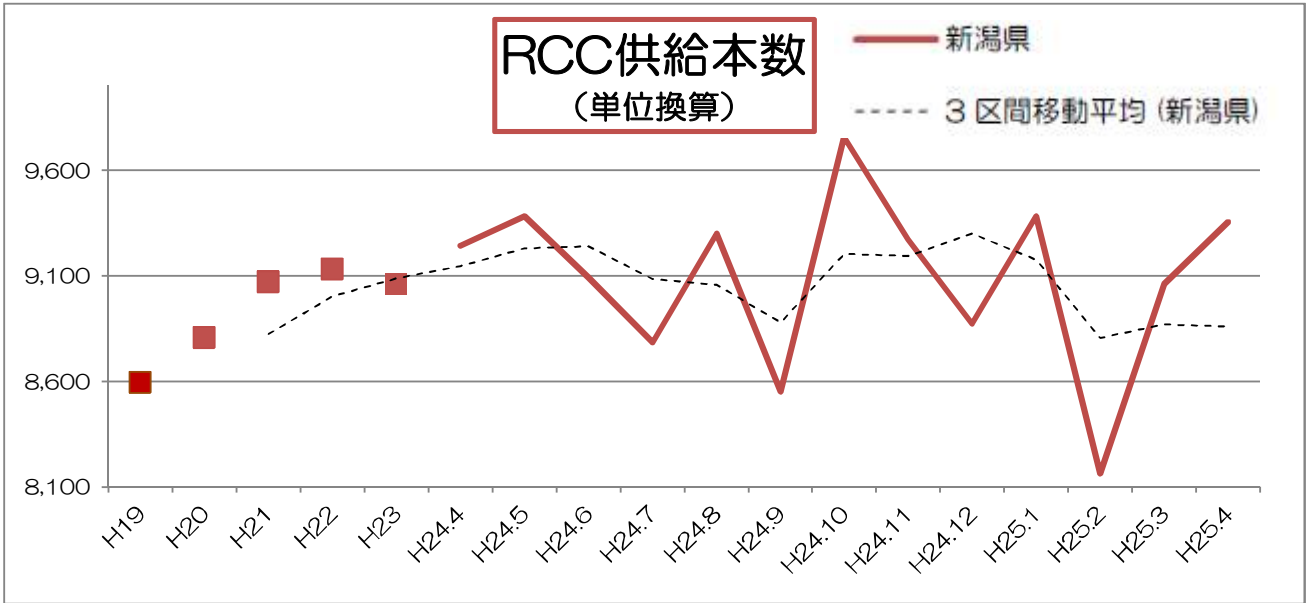


\* 日本赤十字社ホームページ「数値で見る血液事業」より引用。

\* 管内供給本数を単位換算、対前年同月比で示した。過去 5 年(月平均供給本数)のデータを追加した。





## H25 年 血液製剤使用状況集計結果

対象： 新潟県内の輸血を行う主要な医療機関 82 施設

入力いただいたデータは下記の表の通り一般病床数により 6 つの規模別に分類して集計

- ◆4 月の特徴：①赤血球・血小板製剤、アルブミンの使用量に大きな動きは見られない。②血漿製剤については供給量と使用量の差が大きかった。廃棄量の増加や血漿交換の上昇傾向との関連を観察したい。③赤血球・血小板製剤の廃棄率は減少傾向で昨年 of 平均に近づいている。

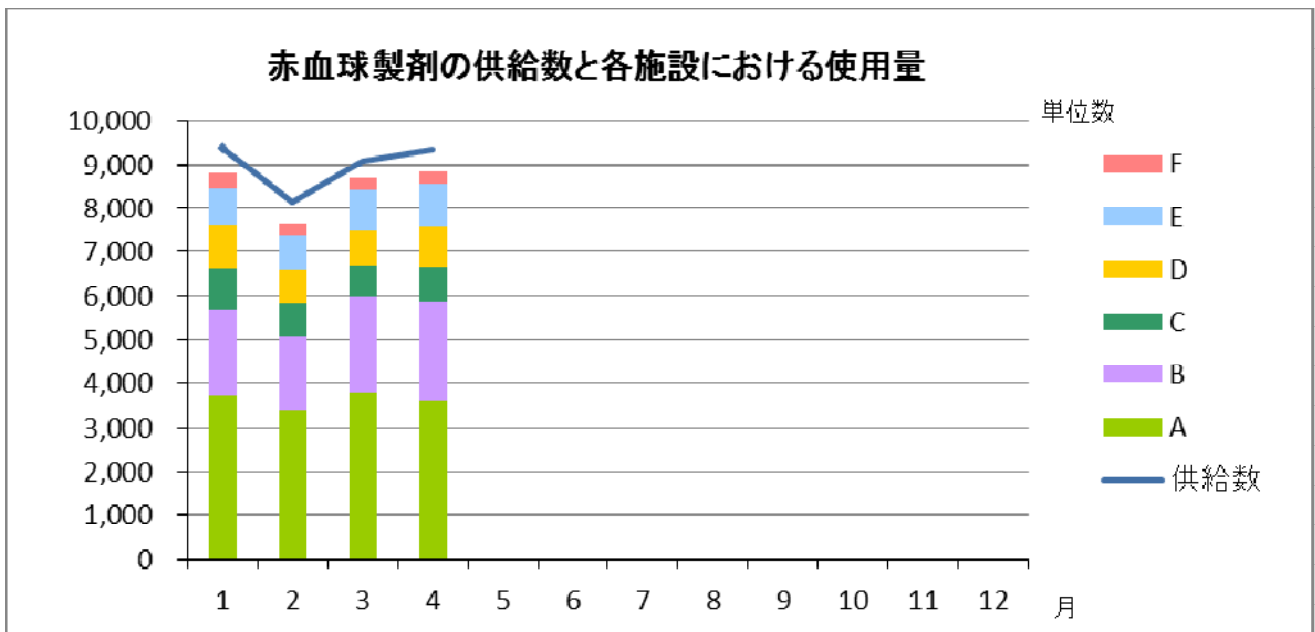
施設規模(一般病床数による)	施設数	病床数	
A	500床以上	6	3,562
B	400～499床	5	2,135
C	300～399床	7	2,273
D	200～299床	10	2,513
E	100～199床	22	3,475
F	0～99床	32	1,646
計		82	15,604

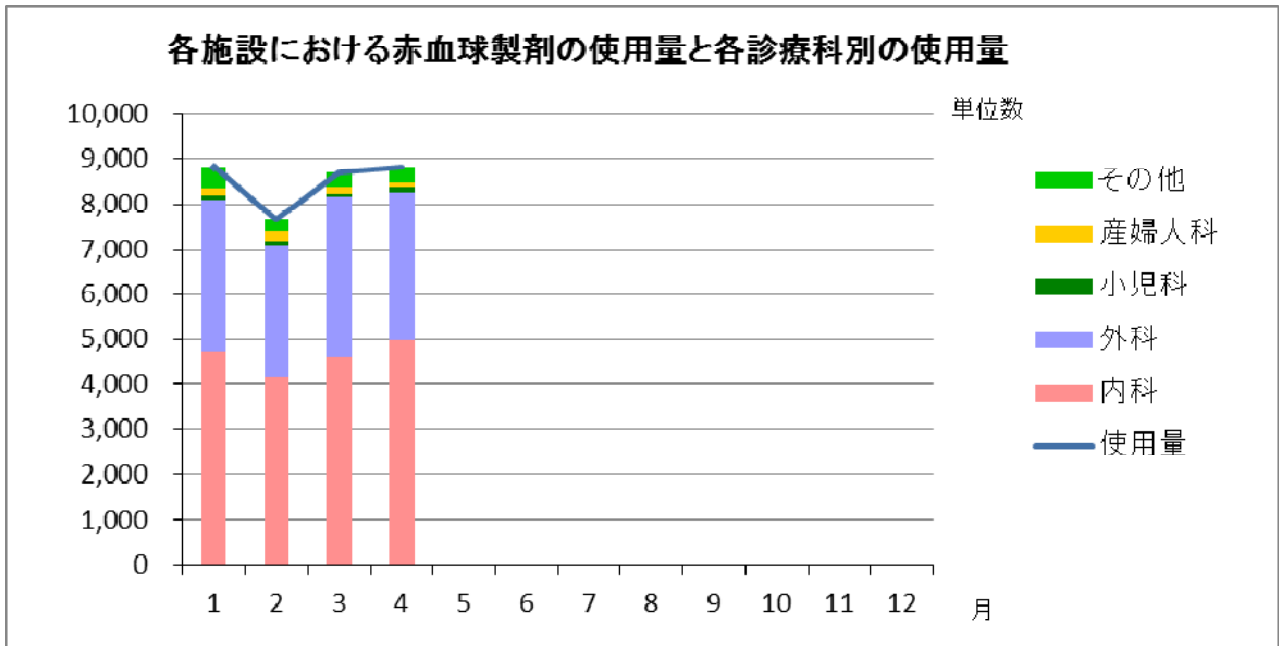
### ○赤血球製剤

赤血球製剤の使用量と各診療科別による使用量

\* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	3,619	1,991	1,193	97	92	246	3,619	100.0
B	2,247	1,172	1,047	2	14	12	2,247	100.0
C	776	518	250	0	4	4	776	100.0
D	925	468	377	0	0	80	925	100.0
E	984	589	383	6	0	6	984	100.0
F	272	223	49	0	0	0	272	100.0



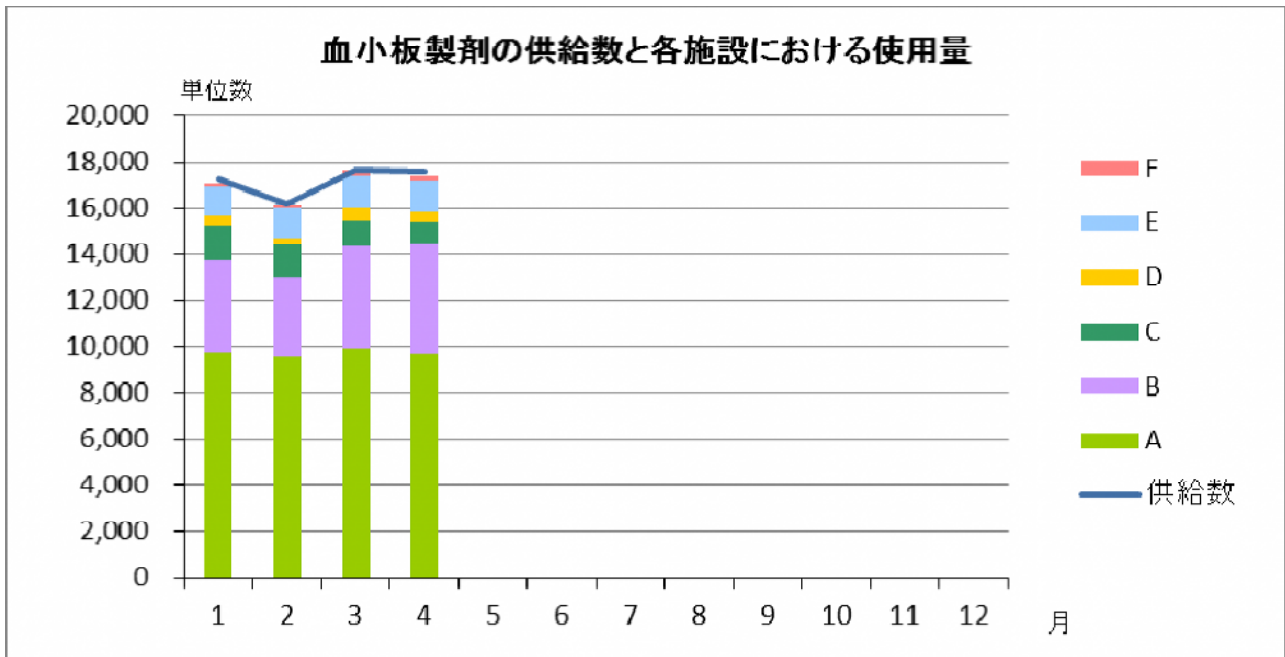


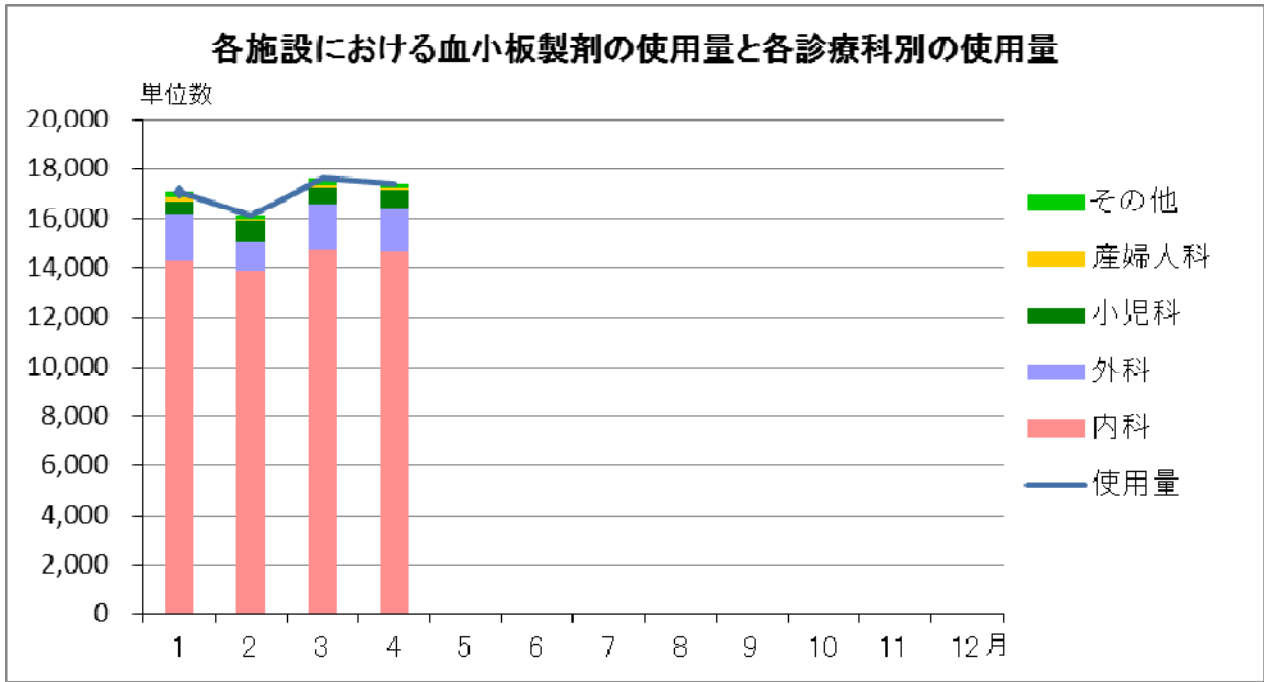
### ○血小板製剤

血小板製剤の使用量と各診療科別による使用量

\*各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	9,694	8,110	670	759	40	115	9,694	100.0
B	4,720	3,890	810	0	20	0	4,720	100.0
C	995	985	0	0	0	10	995	100.0
D	415	275	120	0	0	20	415	100.0
E	1,365	1,230	115	0	20	0	1,365	100.0
F	195	160	35	0	0	0	195	100.0



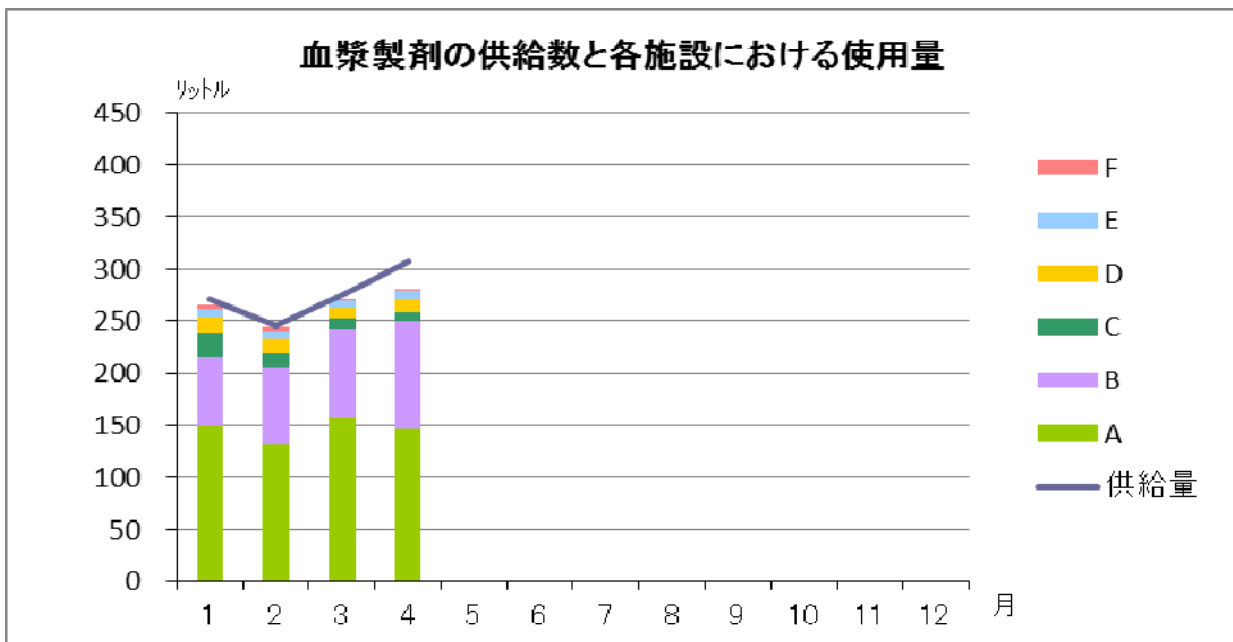


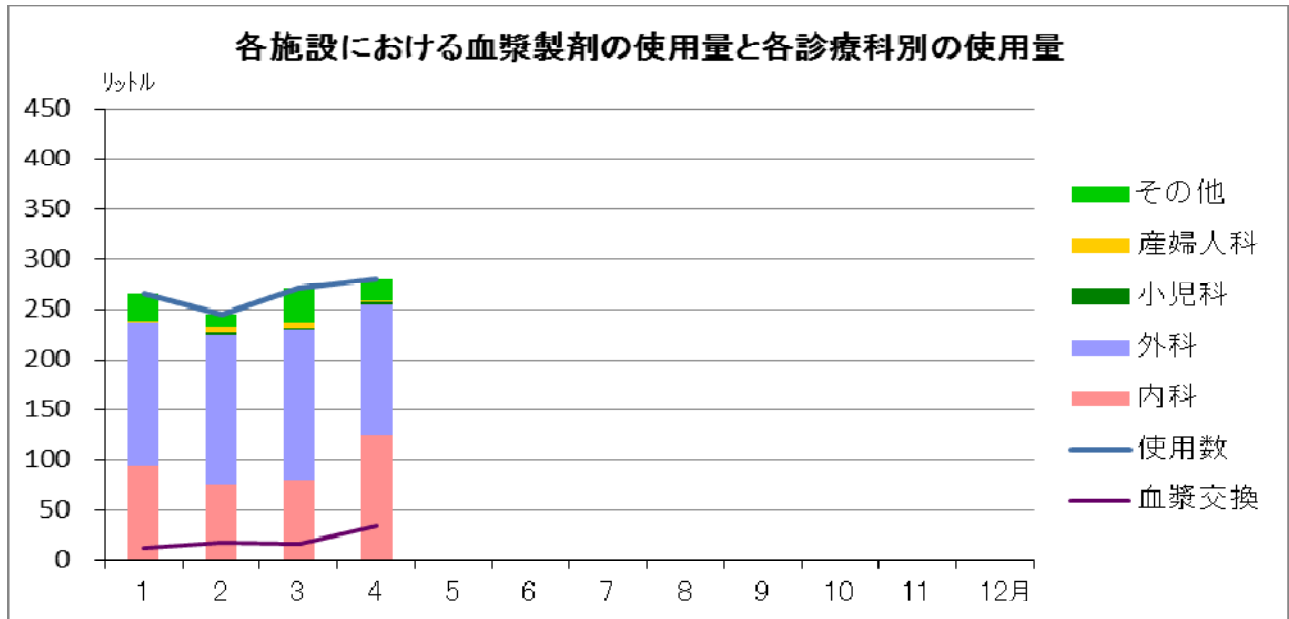
## ○血漿製剤

血漿製剤の使用量と各診療科別による使用量

\* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (リットル)	血漿交換	診療科別					計	全体の使用量 に対する割合
			内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	146.0	17.1	69.0	57.4	2.4	1.4	15.8	146.0	100.0
B	104.1	16.7	45.0	59.2	0.0	0.0	0.0	104.1	100.0
C	8.2	0.0	5.3	2.9	0.0	0.0	0.0	8.2	100.0
D	13.0	0.0	2.6	4.1	0.0	0.0	6.2	13.0	100.0
E	8.2	0.0	2.8	5.4	0.0	0.0	0.0	8.2	100.0
F	0.7	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	100.0



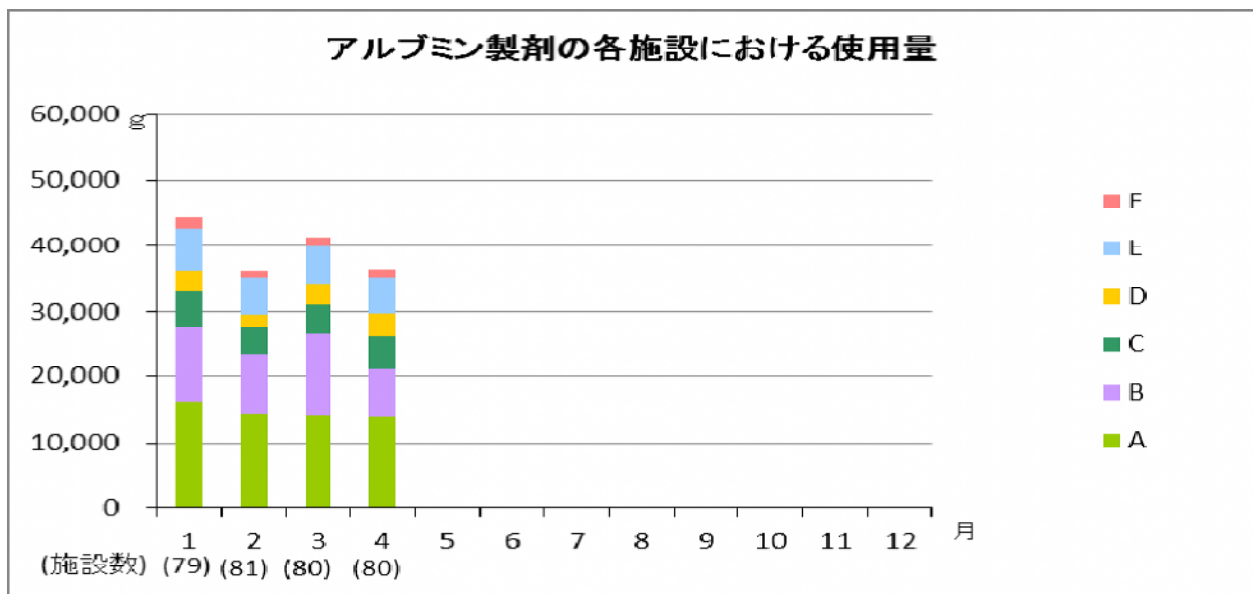


## ○アルブミン製剤

アルブミン製剤の使用量と各診療科別による使用量

- \* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示
- \* 輸血用血液製剤と異なり、全ての医療機関から回答を頂けていないため、入力されたデータのみを表示
- \* ( ) 内はアルブミン製剤の使用量の入力がされた施設数を表したのもの

規模別	全体の使用量 (グラム数)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A (6/6)	13,800.0	3,285.0	3,582.5	117.5	75.0	25.0	7,085.0	51.3
B (4/5)	7,300.0	3,750.0	3,550.0	0.0	0.0	0.0	7,300.0	100.0
C (7/7)	4,994.0	3,262.5	1,431.5	50.0	250.0	0.0	4,994.0	100.0
D (10/10)	3,595.0	1,652.7	654.8	100.0	25.0	50.0	2,482.5	69.1
E (22/22)	5,620.0	2,110.0	1,052.0	0.0	12.5	220.0	3,394.5	60.4
F (31/32)	1,151.0	951.0	200.0	0.0	0.0	0.0	1,151.0	100.0

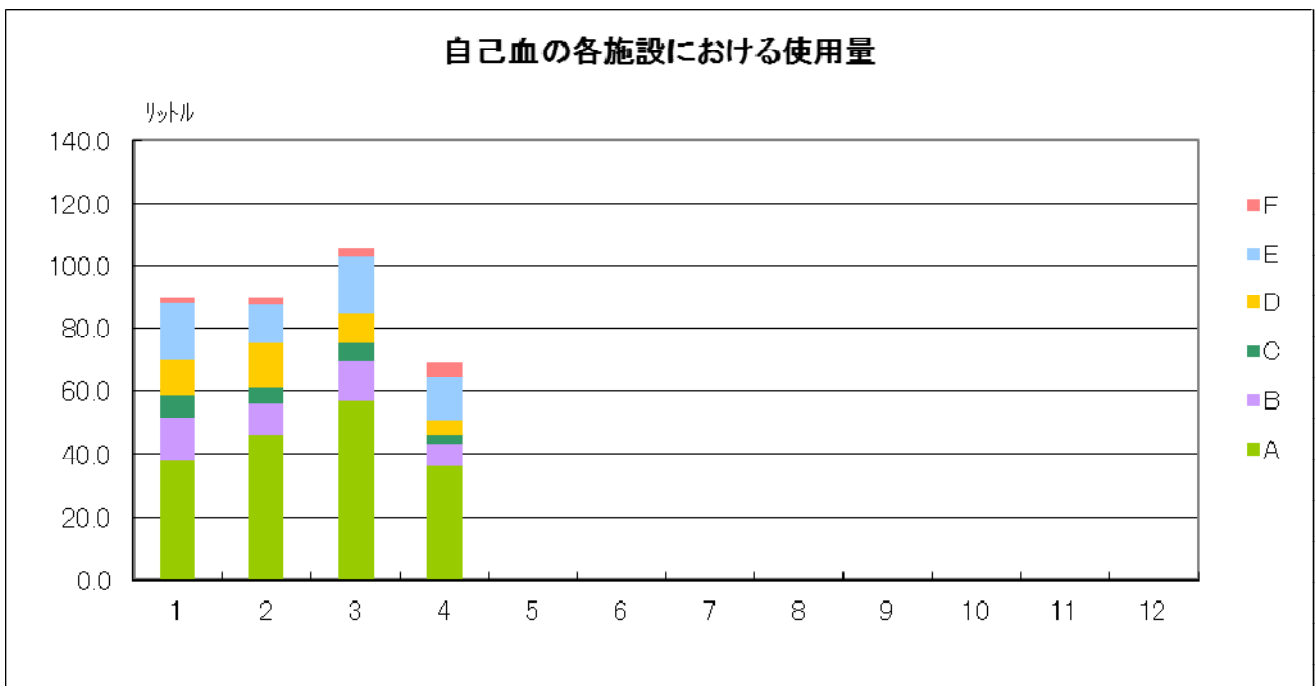


## ○自己血

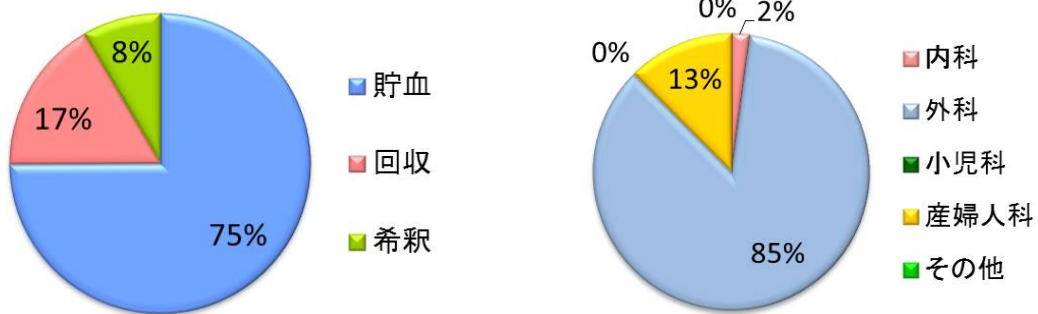
自己血の使用量と各診療科別による使用量

\* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	自己血使用量(リットル)				診療科別							全体の使用量に対する割合(%)
	貯血	回収	希釈	計	内科	外科	小児科	産婦人科	その他	計		
A	22.1	8.2	5.8	36.1	1.4	28.2	0.0	6.5	0.0	36.1	100.0	
B	4.7	2.3	0.0	7.0	0.0	6.3	0.0	0.7	0.0	7.0	100.0	
C	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	2.8	100.0	
D	3.6	1.0	0.0	4.6	0.0	4.2	0.0	0.4	0.0	4.6	100.0	
E	13.6	0.0	0.0	13.6	0.0	9.8	0.0	0.6	0.0	10.4	76.5	
F	4.8	0.0	0.0	4.8	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8	100.0	
計	51.6	11.5	5.8	68.8	1.4	56.1	0.0	8.2	0.0	65.6	95.4	



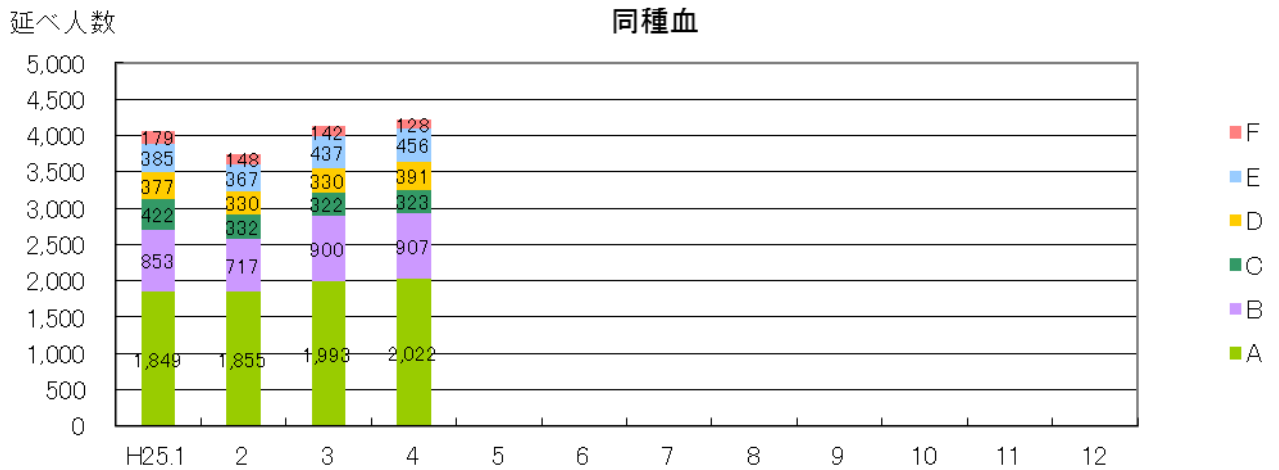
【自己血輸血の種類と診療科別の割合】



○輸血実施患者数（延べ人数）

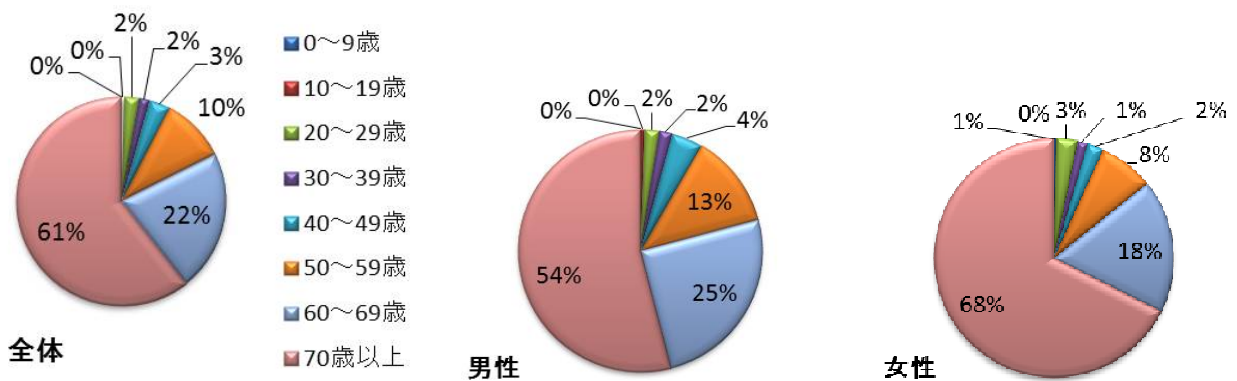
4月	A	B	C	D	E	F	Total
同種血	2,022	907	323	391	456	128	4,227
1床あたり	0.57	0.42	0.14	0.16	0.13	0.08	0.27
自己血	66	14	6	11	30	3	130
アルブミン	477	349	274	168	161	51	1,480

※ アルブミンについては全施設がデータ提出しているわけではないので参考データ扱い。



【男女別年代別の同種血延べ人数】（データ提出施設分のみ）

4月	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	Total
男	1	6	26	23	55	166	334	717	1,328
女	4	0	35	17	28	92	224	837	1,237
計	5	6	61	40	83	258	558	1,554	2,565

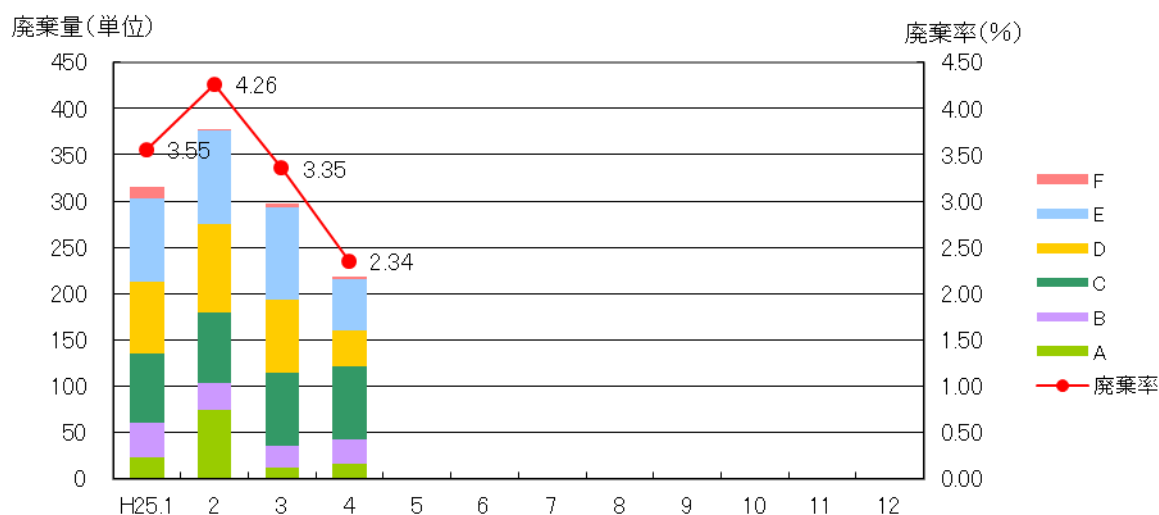




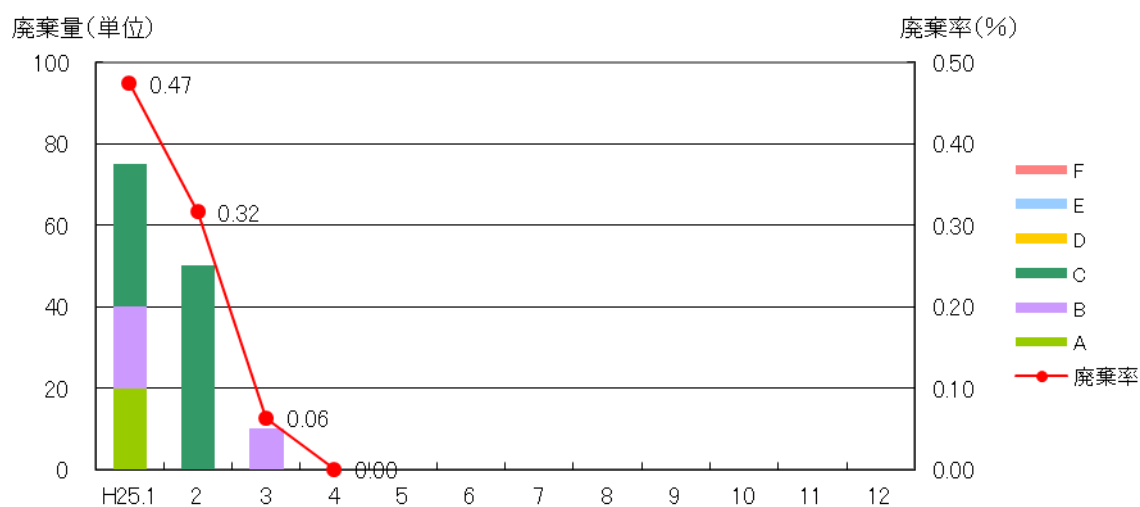
### ○血液製剤及び自己血の廃棄率

4月	A	B	C	D	E	F	Total
赤血球製剤(単位)	16	26	79	39	55	4	219
血小板製剤(単位)	0	0	0	0	0	0	0
血漿製剤(リットル)	2.4	3.3	0.5	1.7	0.0	0.0	7.8
自己血(リットル)	3.3	0.8	4.8	1.7	0.4	0.8	11.8

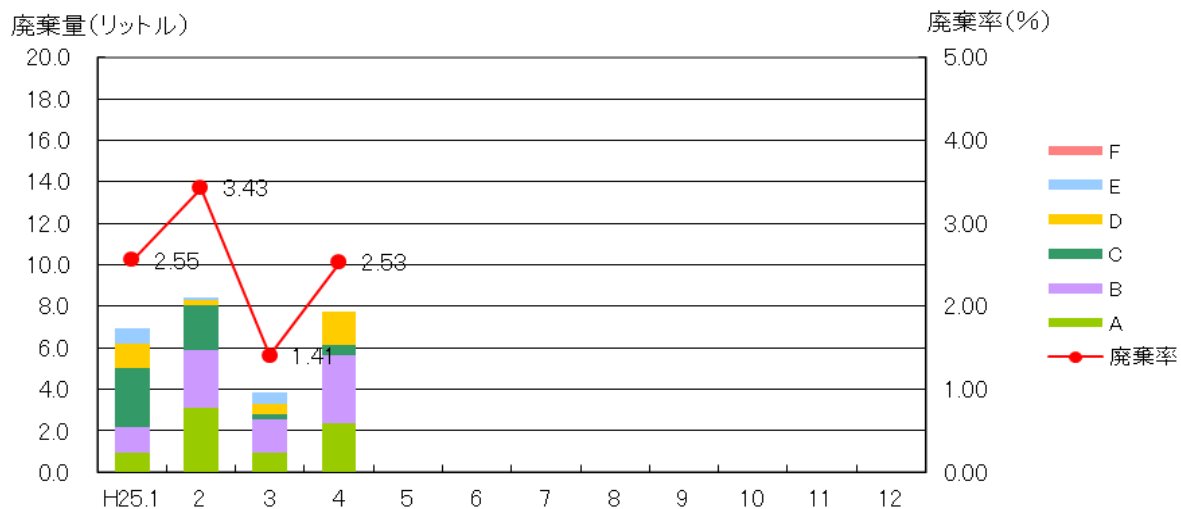
#### 赤血球製剤の廃棄量と廃棄率



#### 血小板製剤の廃棄量と廃棄率



### 血漿製剤の廃棄量と廃棄率



### 自己血の廃棄量

